

平成20年度
第3回 熊毛地区地域審議会
会議録

期 日：平成20年10月14日（火）

場 所：周南市熊毛総合支所

【会 議 次 第】

1 開 会

2 市民憲章唱和

3 あいさつ

4 議 事

(1) 新市建設計画の進捗状況に対する意見集約案について

(2) その他

5 閉 会

平成20年度 第2回熊毛地区地域審議会 会議録

日 時 平成20年10月14日(火) 10:00～11:55

場 所 周南市熊毛総合支所 東庁舎2階会議室

出席者 ・委員13名(欠席2名)

丸山 和之(会長)、久野 利夫(副会長)、前田 芳子、佐久田美智枝、中村美代子、
末廣 勝、小松 峯子、西村 照子、上田 辰巳、上田 悟、河内 卓彦、櫻山 隆、
岡田 貞克

・事務局(市職員7名)

経済部 次長 石田詔夫、道の駅推進室長補佐 伊ヶ崎大志

熊毛総合支所長 青木龍一、次長 広実優

熊毛総合支所地域政策課課長補佐 佐伯信治、担当主査 中村悟、主査 鶴飼香澄

資 料 ・新市建設計画進捗状況に対する意見等について(案)

会 議 議 事 録

1 開 会

2 市民憲章唱和

3 あいさつ

(1) 熊毛総合支所長あいさつ

総合支所長 経済状況の厳しい中で、周南市にも少なからず影響があると思われま

す。合併後6年目を迎え、10年のスパンで見ると、折り返しとなるこれからが大切な時期になってまいります。

これまでは、合併前の旧2市2町分として算定されていた交付税額が、合併後10年目から1市分として算定されることになり、より一層、行政改革に取り組まなければならない一方で、周南市に住んでよかった、また住み続けたいと思っていただけるようなまちづくりを、市民の皆さまと共に進めていかなければ、と思っています。

本日は新市建設計画の進捗状況に対する意見集約案についてご審議いただきます。皆さま方からいただいた意見を活かし、子や孫に引き継げるようなまちづくりを目指したいと思います。

(2) 会長あいさつ

会長 今日 isNew 建設計画の意見集約案について意見をいただき、まとめていきたい
と思います。

21 のリーディングプロジェクトの中の(仮称)「コアプラザ熊毛」整備事業に
ついては、平成 22 年の完成を目標に業者も決まり、設計を進めておられます。

新聞紙上でも周南市について、本庁市民課の窓口サービスの時間延長、鹿野小
学校の体育館の問題、農薬の問題から来る食の安全性、ナベツルの防護柵完成、
道の駅など、さまざま取り上げられています。

市民と行政との協働のまちづくりということで市民参画条例もでき、お互いが
協力し合うため、皆さんの積極的な意見をお聞きして進めていきたいと思いま

(事務局の自己紹介)

4 議事(要約)

(1) 新市建設計画の進捗状況に対する意見集約案について

会長 まず、意見集約案について事務局から説明をお願いします。

事務局 資料「新市建設計画の進捗状況に対する意見等について(案)」を説明

会長 全体的な事項、個別事項について、ご意見はありませんか。

委員 2011 年 7 月 25 日から地上デジタルテレビ放送に完全移行しますが、ケー
ブルテレビはどのような影響を受け、どれだけのデジタルチャンネルを放送する
予定でしょうか。今の段階では山口県内の局しか取扱わないと聞いています。

副会長 基本的には、著作権の問題や開局当初に届け出ている放送区域申請の問題など
から、民放連は、区域外の再送信を認めないという方針を打ち出しているよう
です。ケーブルテレビ会社に問い合わせたところ「現在協議中であり、もう少し待
ってほしい」との回答でした。

会長 ありがとうございます。ケーブルテレビの事については、もう少し時間がかか
るということですね。行政側で情報を何かつかんでいらっしゃいますか。

事務局 地上デジタルテレビ放送は、一地域だけでなく、国全体の施策でありますから、
国レベルでもいろいろな検討がされているのではないかと思います。

会長 10 月 12 日に道の駅設置に向けた調査の一環として、JR 戸田駅前で地元農
産物直売所を開設されていますが、熊毛地区の現状や、これからの取り組みにつ
いて、お話いただけますか。

事務局 道の駅につきましては、今年 3 月に周南再生戦略会議から答申を受けたところ
です。4 月に道の駅の実現可能性調査の予算がつき、東部と西部地区の 2ヶ所
について調査を進め、技術専門的なものはコンサルタントに調査委託しております。
西部地区では、10 月 12 日に戸田駅前を実証店舗がオープンしました。

東部地区では、当初、熊毛総合支所周辺で実証店舗を設け、進めていこうという考えがありましたが、既に総合支所近くにＪＡ周南熊毛支所の１００円市があり、地域に定着しております。そこで、関係者と何度か懇談の機会を設け、ＪＡ周南熊毛支所の１００円市の建物内で、実証店舗の設置と現在の販売等を行なうという基本方針の了解を得たところです。

実証店舗に向けて計画の骨格ができましたら、市の広報などを通じ、東部地域(熊毛地域)を中心に公募をします。公募会員を中心に運営協議会を立ち上げ、いろいろなご意見やご提案をいただき事業を進めていく予定です。

また、９月２５日に道の駅実現に向けたワークショップを開き、地域の方や公民館活動をされている方などにご参加いただきました。今後も数回ワークショップを行ない、１１月２２日に山口県総合庁舎のさくらホールで、東部・西部のワークショップ最終報告会を行なう予定です。

会長 第１回目のワークショップでは、どのような要望や意見が出ましたか。

事務局 ワークショップは４グループに別れ、各々、熊毛の伝統や歴史、八代地区の鶴に関する事など、地域の特性やアイデアを出していただきました。ワークショップは回を重ねて築き上げていくもので、１回目で結論を出すものではございません。どの場所がいいとか、どういう機能を道の駅に入れてほしいというようなことが、ワークショップの核心部分になろうかと思えます。回を重ねて出てきた意見をグループごとに具体化していただき、発表していただく予定です。

委員 規模はどのくらいを想定していますか。

事務局 道の駅には可能な限りの機能を入れ込みたいという意見もありますが、要望される機能を全て入れ込むには膨大な事業費がかかります。現実的にどのくらいの機能が可能なのか、今後検討をしてみたいです。

会長 県内の道の駅の店舗数等はどのようになっていますか。

事務局 道の駅は、全国約８８０ヶ所で、県内に１８ヶ所あります。県内の道の駅は、山陰地方や下関方面に集中しており、中部から西部にかけては周防大島の１ヶ所のみです。

周南市では東部・西部のまちづくりの大きな拠点として進めていきます。

会長 運営協議会の募集は一般公募だと思いますが、今後の流れはどのようになっていますか。

事務局 ＪＡ周南熊毛支所には基本方針の了解を得ておりますので、今後は計画の骨子を作成し、それが出来次第、広報等で公募します。実証実験は開始から１年間と考えています。

会長 正式店舗の完成予定はいつになりますか。

事務局 周南市は「一体型道の駅」を目指しています。これは駐車場やトイレ、休憩施設などドライバーのためのものは道路管理者が管理し、農産物の直売所のような地域振興策は市が取扱う、というものです。このことについては、現在、山口県や国土交通省と協議を進めており、時期や店舗案などをお示しするには、まだしばらく時間が必要です。

委員 〃 A 周南熊毛支所の店舗の敷地面積は、あまり広くありませんが大丈夫ですか。
事務局 実証実験の候補地として熊毛総合支所という案もありましたが、他市の事例や地域の皆さま、関係者などからお聞きする中で、先行実態があり地域の信頼もある〃 A 周南熊毛支所の 100 円市と連携して行なったほうが良いと考えました。実証実験は、あくまで「仮設」です。その場所が道の駅の確定場所ではありません。売り上げについても、東部地区の分析データとして参考にいたしますが、あくまで調査の一環と考えています。

委員 今ある 100 円市の店舗を利用して実証実験を行なおうということであれば、取扱うものは野菜やお花などの農産物が中心でしょうか。特産品なども新たに考え出したらいいのではないかと思います。

委員 道の駅で取扱う商品は、価格にこだわるのではなく、むしろ安全なものにするべきだと思います。また、野菜などの農産物だけではなく、水産物やその他いろいろなものがあると思います。

事務局 また、安全な商品の生産率を高めるためには、技術指導も必要になります。
価格については、基本的に自由価格を考えています。また、消費者が喜ぶ魅力ある道の駅には「地域の特産品」は欠かせないものだと思います。

道の駅の骨格ができましたら、広報などで一般公募し、運営協議会を立ち上げたいと思います。いろいろな意見やアイデアを協議会の中で話し合ってもらい、運営協議会が主体となって決めていただく予定です。市は事務局として事務的なお手伝いをさせていただきます。

会長 審議会委員の中で運営協議会に入りたいと思われる方は公募され、しっかり意見を出していただきたいと思います。

委員 コアプラザ熊毛の件で伺います。コアプラザ熊毛整備事業に関する住民説明会が 7 月に開催されましたが、その時の説明では、基本設計ができた時点で、再度市民に公開するとのことでした。先ほどの説明では、すでに設計業者も決まり、設計を発注されていますが、市民への公開はいつを予定していますか。

事務局 予定では、12 月頃に住民説明会を開催し、市民の皆さまにご説明したいと考えています。

委員 防災行政無線について、場所によっては放送内容がとても聞こえにくい状況です。市民の役立つものに改善してほしいと思います。

事務局 これまでも、委員の方からこの事項をご指摘いただいております。防災行政無線は各地区に設置しており、災害時には音量を最大にしています。しかし、屋外にある放送設備なので、状況によっては聞き取りにくい場合もあるようです。

現在、防災行政無線は 92 - 0800 で放送内容を再度電話で聞くことができるようになっています。以前も広報に掲載しましたが、今後も皆さまへの周知徹底を図り、聞き取れなかったときには利用していただきたいと思います。

また、防災行政無線は、機器の点検も兼ね、日頃はミュージックサイレンとして活用しています。聞きたいと思われる方からは「聞き取れない」と言われる反面、時代とともに生活スタイルも多種多様になり、必要ないと思われる方からは「う

るさい」との苦情も寄せられています。これからは、双方向通信を活用したケーブルテレビなど、防災行政無線に代わるような手段も複合的に考えていく必要があると思います。

会長 財政的な問題もあるでしょうが、各地区にある防災行政無線のスピーカーを今後増やすことなどはお考えですか。

事務局 新しく設置する場合は、地域の方との合意形成が必要だと考えております。非常時には重要な設備ですが、日頃は騒音と捉える方もいらっしゃいます。経費の問題に加え、地域の方の合意を得ることが難しくなっています。

副会長 以前、周南農業協同組合が有線放送を取扱っておられました。停電になっても配線さえ繋がっていれば聞こえますから、非常時に役立つ防災システムでした。安全に関することですので、こういったものやケーブルテレビなど、双方向を利用した改善策を早急に取り組んでいただきたいと思います。

会長 防災行政無線の放送内容を電話で再確認できるということでしたが、確認の電話が一斉にかかってきた場合、回線は大丈夫ですか。

事務局 集中して電話がかかってきた場合は、話中になる可能性もあります。電話回線の数に関しては今後の課題です。

会長 今年から、安心安全情報サービスとして、災害や緊急時のお知らせなどを携帯電話やパソコンにメール配信するサービスが行なわれていますので、これをもっとPRした方がいいと思います。安心安全な生活をしていくためには、この情報システムだけでなく、いろいろな手段を考えないといけないと思います。

委員 資料の中に「災害時の助け合いネットワークづくりが必要」とありますが、近年、個人情報の保護について大変重要視されています。

しかし、災害や緊急時には、助け合いのための個人情報の提供をお願いしたいと思っています。地域では独居の方が随分増えていますが、地域の方はなかなか把握できません。

有線放送については、すごくいいシステムだったと思います。これから先、本当に必要になるのは、こういったシステムだと思います。

会長 災害や緊急時には、いかに情報を早く・正確に伝えるか、ということが大事になります。これは熊毛地区だけの問題ではなく、周南市全体に言えると思います。行政側でも防災に関して検討が進められていると思いますが、防災行政無線や有線放送などの意見が出ているということ課題として出してもらいたいと思います。

また、個人情報の保護についてですが、まず、どのようにして地域と係わっていくかということが大事だと思います。民生委員の会合等においても、地域とのかかわり方やネットワークづくりについて話し合っただき、いざという時に役立つ方法をお願いしたいと思います。

会長 それでは、意見集約の確認ですが、全般的な事項と個別事項のまとめ方はよろしいでしょうか。

(異議なし)

3 閉 会

会長あいさつ

会長 青木総合支所長は、熊毛総合支所に就任されて半年経ちますが、現在の熊毛の印象について、率直にご感想をお願いします。

総合支所長 半年が経過する中で、2点について感じております。

一点目は、今までの伝統的な文化や歴史などが色濃く残っている地域であるという点。二点目は、団地と地の方とがうまく調和された地区がたくさんあるという点です。いろいろなイベントにも参加させてもらいました。各地域がよくまとまって活動をされているので、今後も続けていただきたいと思います。

また、熊毛地域全体で、もっと情報発信をしたいと思っています。特に若い方が、市政や地域活動にもっと参加していただけるようなイベントが熊毛地区に根付いてほしいし、伝統や文化を活かした一体感が、熊毛地区から周南市全体に広がっていけばいいなと思います。

会長 熊毛地区の住民としても、周南市の一部として、もっとがんばっていきたいと考えております。三丘地区でも徳修館創健200年記念の祭りがありますし、各地区でもイベントがありますので、どんどん情報発信し、一体感の醸成を創っていかなければならないと思います。課題もいろいろありますが、また皆さんと協議しながら進めていきたいと思っています。

本日はお疲れさまでした。